

令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎
建設造成工事

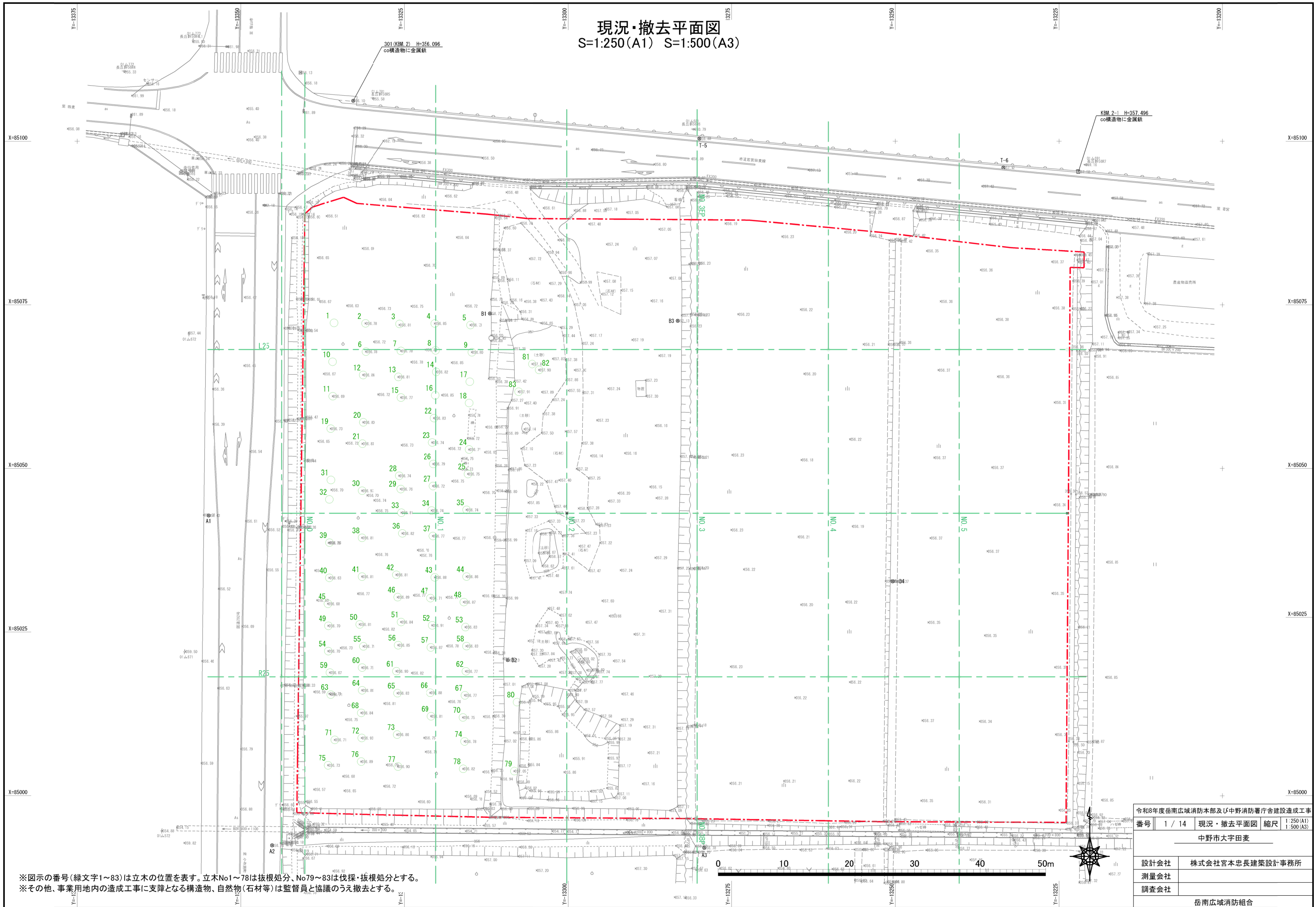
令和8年 2月

岳南広域消防組合

株式会社 宮本忠長建築設計事務所

現況・撤去平面図

S=1:250(A1) S=1:500(A3)

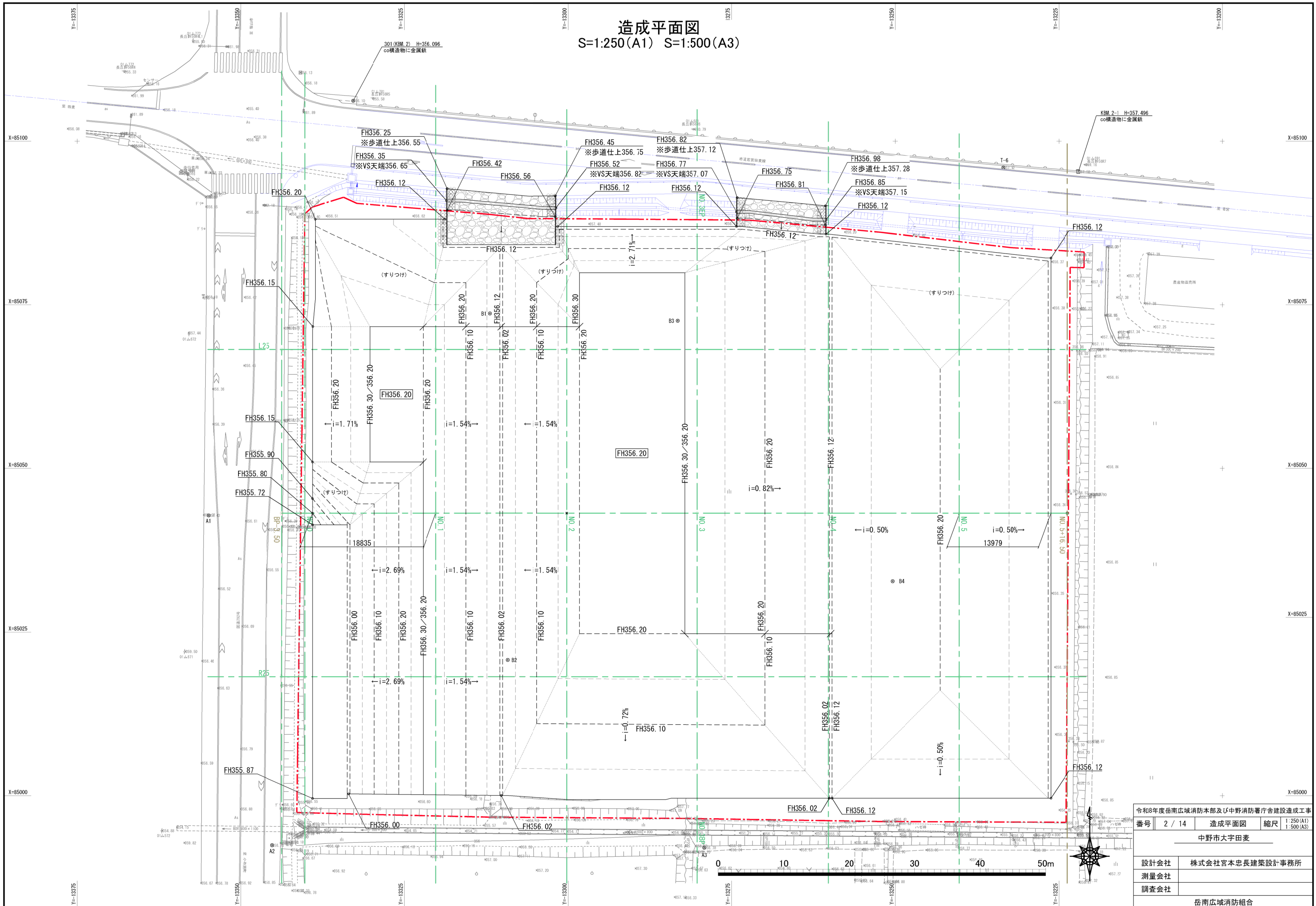


※図示の番号(緑文字1~83)は立木の位置を表す。立木No1~78は抜根処分、No79~83は伐採・抜根処分とする。
 ※その他、事業用地内の造成工事に支障となる構造物、自然物(石材等)は監督員と協議のうえ撤去とする。

令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	1 / 14	現況・撤去平面図	縮尺 1:250(A1) 1:500(A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社	岳南広域消防組合		

造成平面図

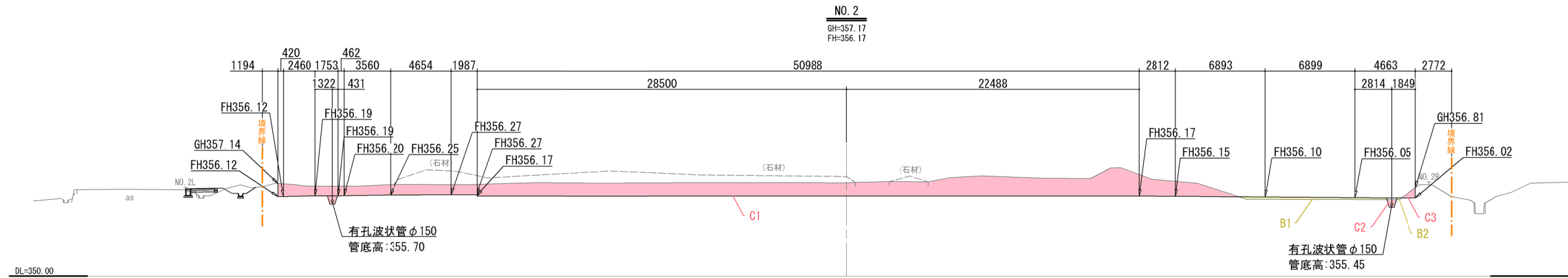
S=1:250(A1) S=1:500(A3)



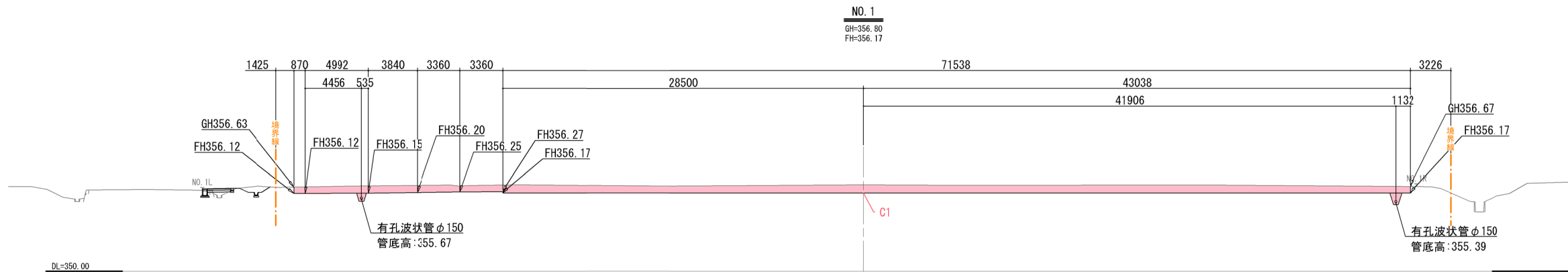
令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	2 / 14	造成平面図	縮尺 1:250(A1) 1:500(A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社	岳南広域消防組合		

造成横断図-1

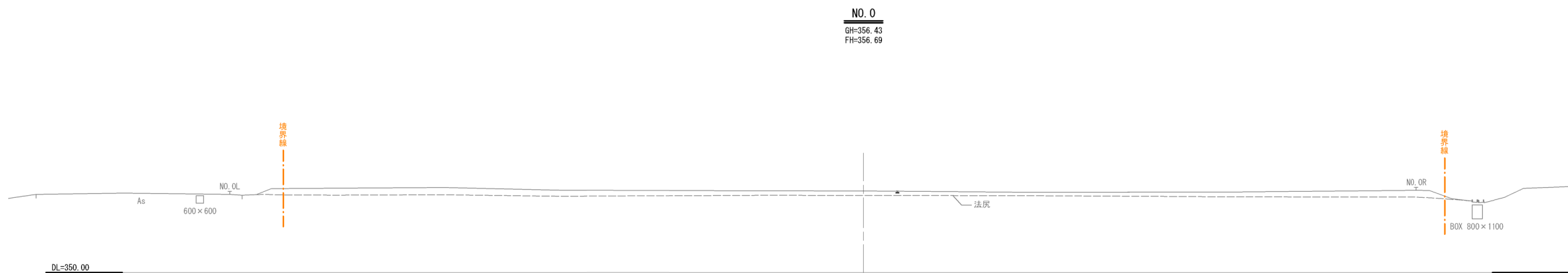
S=1:200(A1) S=1:400(A3)



◇断面土工量
掘削(C):80.2m²
C1_79.5, C2_0.3, C3_0.4
盛土(B):1.9m²
B1_1.9, B2_0.04



◇断面土工量
掘削(C):52.1m²
C1_52.1
盛土(B):0.0m²

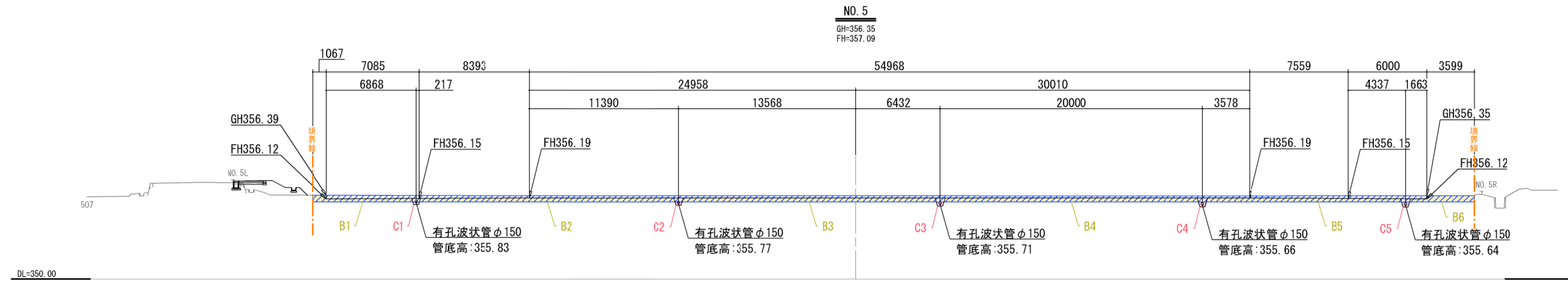


◇断面土工量
掘削(C):0.0m²
盛土(B):0.0m²

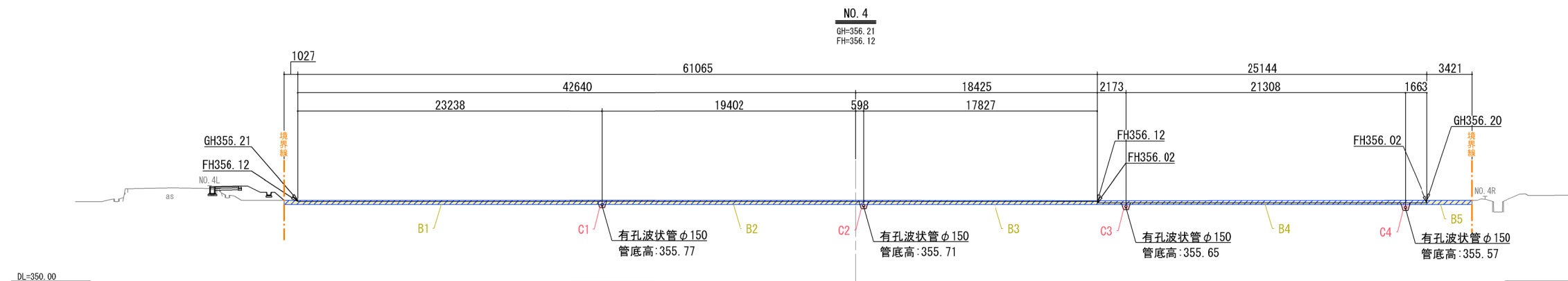
◇造成土工凡例
水田鋤取り: 、掘削: 、盛土:
※水田鋤取りは図示の範囲で地表面～355.88まで。

令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	3 / 14	造成横断図-1	縮尺 1:200(A1) 1:400(A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社			
岳南広域消防組合			

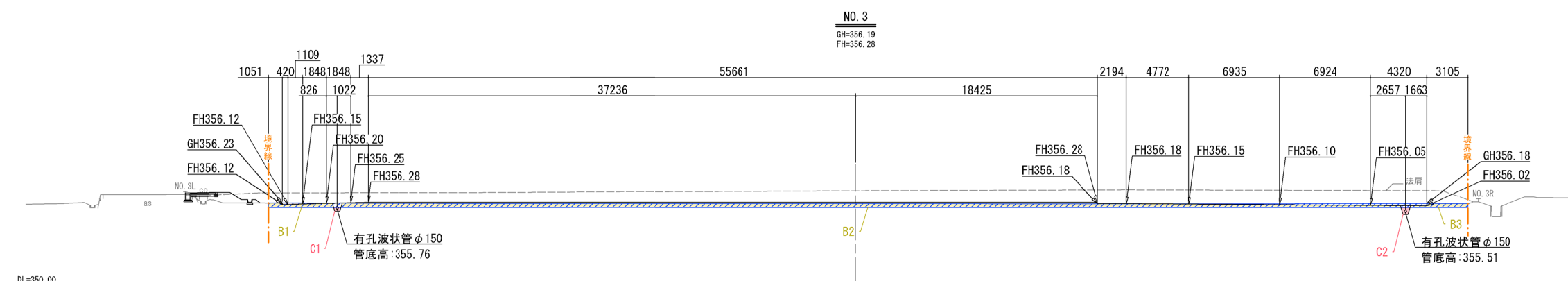
造成横断図-2
S=1:200(A1) S=1:400(A3)



◇断面土工量
水田掘取り:41.8m²
掘削(C):0.8m²
C1_0.09, C2_0.1, C3_0.2, C4_0.2, C5_0.2
盛土(B):26.0m²
B1_2.2, B2_5.8, B3_5.9, B4_5.9, B5_4.2, B6_2.0



◇断面土工量
水田掘取り:28.6m²
掘削(C):0.7m²
C1_0.1, C2_0.2, C3_0.2, C4_0.2
盛土(B):19.0m²
B1_5.8, B2_4.6, B3_4.4, B4_2.9, B5_1.3



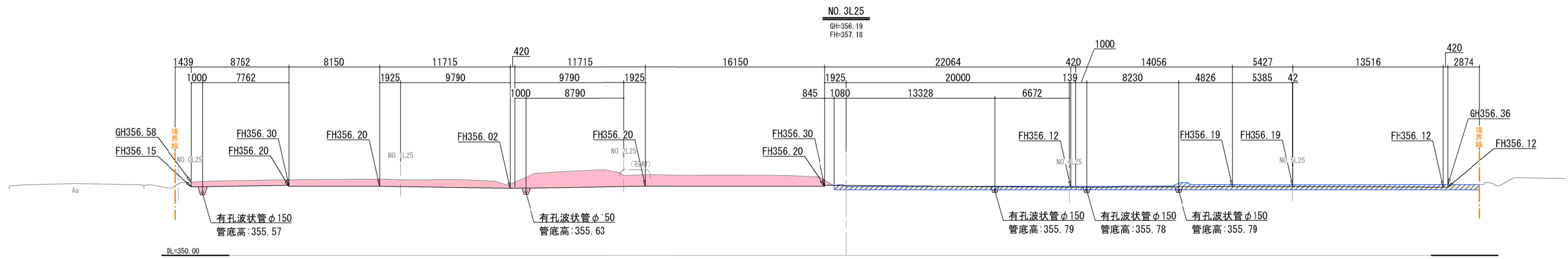
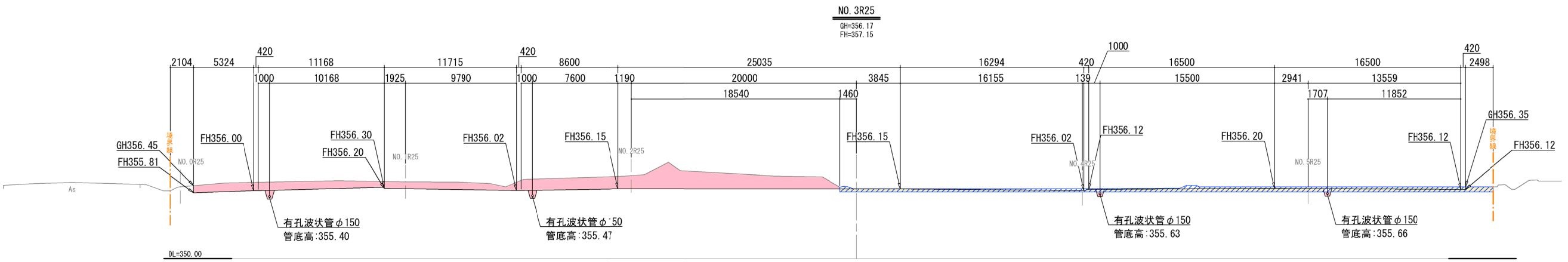
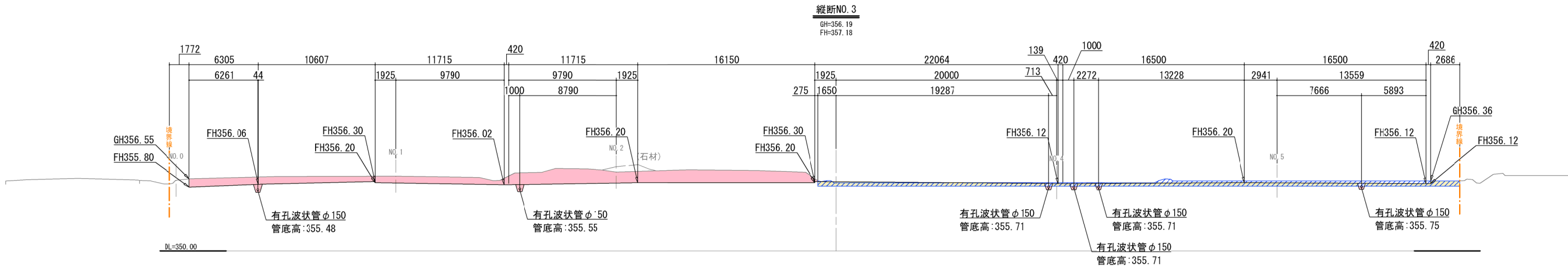
◇断面土工量
水田掘取り:28.1m²
掘削(C):0.4m²
C1_0.1, C2_0.3
盛土(B):31.3m²
B1_1.5, B2_28.7, B3_1.1

◇造成土工凡例
水田掘取り: [斜線パターン]、掘削: [赤塗り]、盛土: [黄塗り]
※水田掘取りは図示の範囲で地表面～355.88まで。

令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	4 / 14	造成横断図-2	縮尺 1:200(A1) 1:400(A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社			
岳南広域消防組合			

参考横断図

S=1:200(A1) S=1:400(A3)

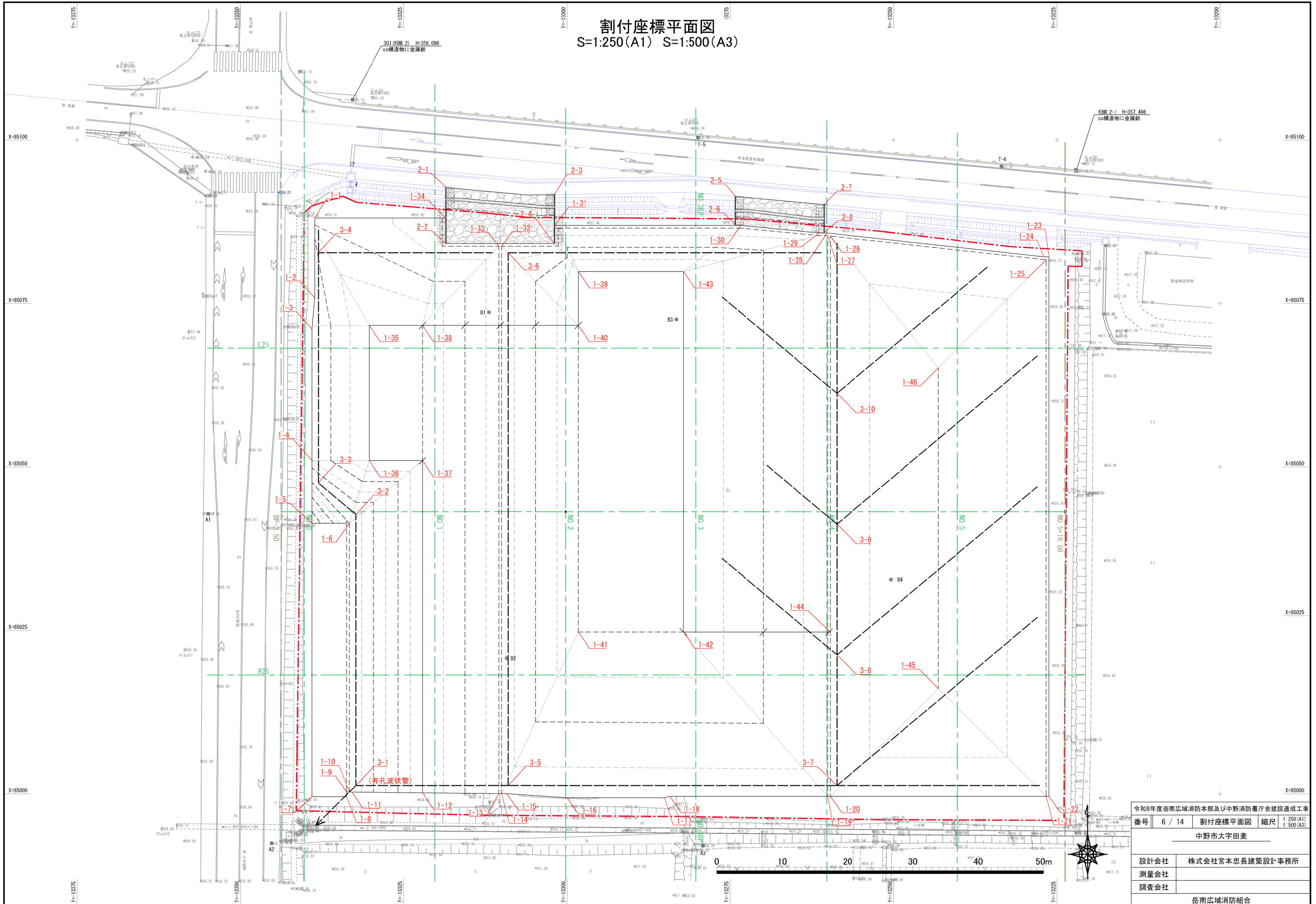


◇造成土工凡例
 水田鋤取り: 、掘削: 、盛土:
 ※水田鋤取りは図示の範囲で地表面～355.88まで。

令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	5 / 14	参考横断図	縮尺 1:200(A1) 1:400(A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社			
岳南広域消防組合			

割付座標平面図

S=1:250(A1) S=1:500(A3)



令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	6 / 14	割付座標平面図	縮尺 1:250(A1) 1:500(A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社	岳南広域消防組合		

割付座標リスト
(割付座標平面図と対応)

測点	X座標	Y座標	備考
1-1	85088.094	-13338.613	造成範囲端,FH356.20
1-2	85075.847	-13338.613	造成範囲端
1-3	85071.097	-13339.035	造成範囲端,FH356.15
1-4	85050.974	-13339.035	造成範囲端,FH356.15
1-5	85041.394	-13339.035	造成範囲端,FH355.72
1-6	85041.394	-13333.291	FH356.00
1-7	84999.575	-13339.035	造成範囲端,FH355.87
1-8	84999.575	-13333.711	造成範囲端,FH356.00
1-9	85000.275	-13333.711	造成範囲端,FH356.00
1-10	85000.275	-13333.291	造成範囲端,FH356.00
1-11	85000.275	-13332.915	造成範囲端
1-12	85000.157	-13322.123	造成範囲端,FH356.30/356.20
1-13	85000.028	-13310.408	造成範囲端,FH356.02
1-14	85000.024	-13309.988	造成範囲端,FH356.02
1-15	85000.015	-13309.215	造成範囲端
1-16	84999.405	-13299.992	造成範囲端
1-17	84999.405	-13285.010	造成範囲端
1-18	84999.605	-13284.210	造成範囲端
1-19	84999.605	-13260.059	造成範囲端,FH356.02
1-20	84999.605	-13259.639	造成範囲端,FH356.12
1-21	84999.605	-13226.639	造成範囲端,FH356.12
1-22	84999.605	-13226.219	造成範囲端,FH356.12
1-23	85082.155	-13226.219	造成範囲端,FH356.12
1-24	85082.155	-13227.019	造成範囲端,FH356.12
1-25	85081.690	-13226.639	FH356.12
1-26	85085.332	-13259.637	FH356.12
1-27	85085.378	-13260.059	FH356.12
1-28	85085.814	-13260.159	造成範囲端,FH356.12
1-29	85085.814	-13261.389	FH356.12
1-30	85086.970	-13273.389	造成範囲端,FH356.12
1-31	85086.970	-13301.848	造成範囲端,FH356.12
1-32	85083.768	-13309.988	FH356.12
1-33	85083.768	-13310.408	FH356.12
1-34	85088.094	-13318.548	造成範囲端,FH356.12
1-35	85071.674	-13330.273	FH356.30/356.20
1-36	85050.974	-13330.273	FH356.30/356.20
1-37	85050.974	-13322.123	FH356.30/356.20
1-38	85071.674	-13322.123	FH356.30/356.20
1-39	85079.899	-13298.273	FH356.30/356.20
1-40	85071.674	-13298.273	FH356.30/356.20
1-41	85024.749	-13298.273	FH356.20
1-42	85024.749	-13282.123	FH356.30/356.20
1-43	85079.899	-13282.123	FH356.30/356.20
1-44	85024.749	-13259.639	FH356.12
1-45	85016.105	-13243.139	FH356.20
1-46	85065.190	-13243.139	FH356.20

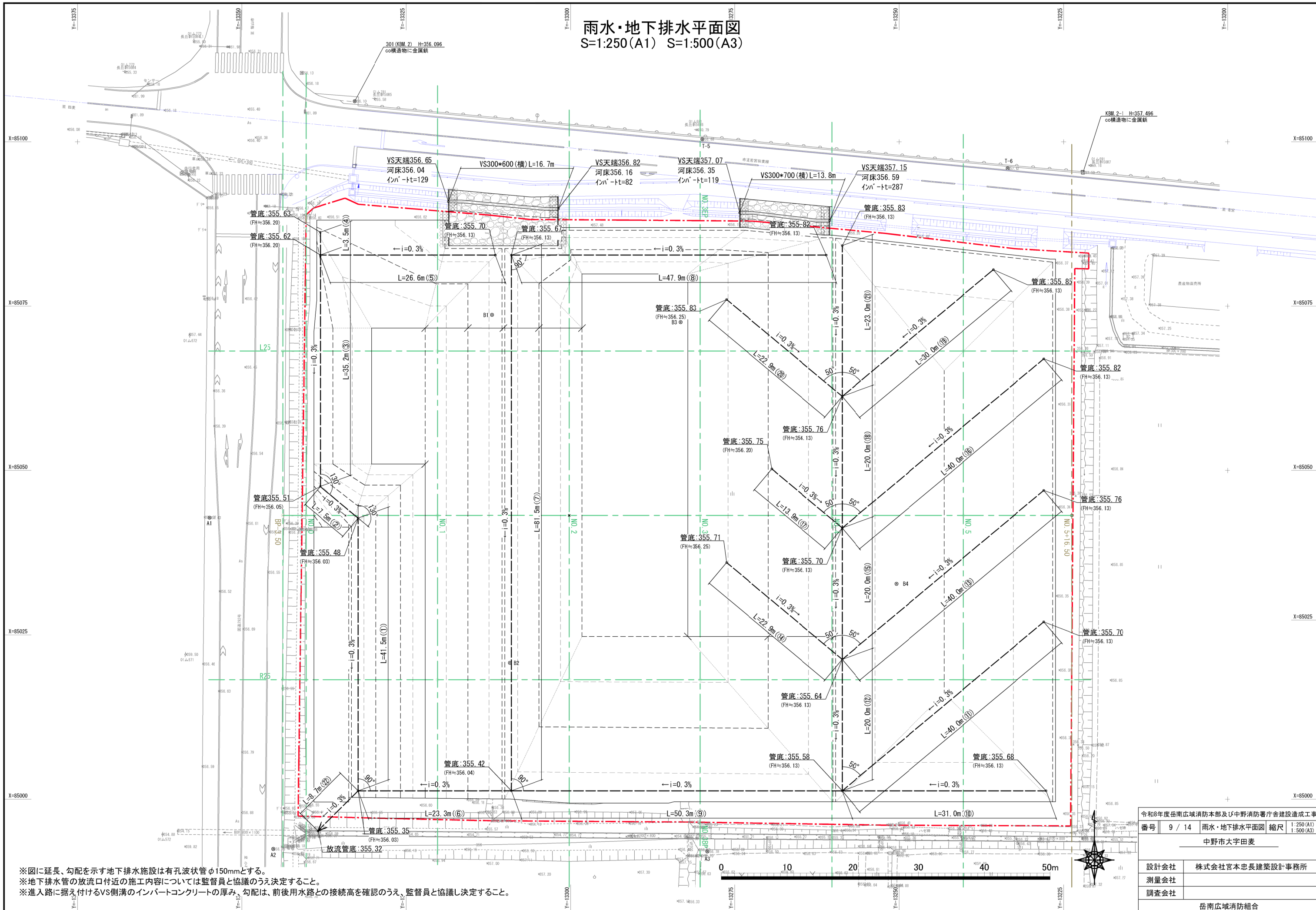
測点	X座標	Y座標	備考
2-1	85092.755	-13318.448	擁壁、進入路側内角
2-2	85084.188	-13318.448	〃
2-3	85091.663	-13301.948	〃
2-4	85084.188	-13301.948	〃
2-5	85091.400	-13274.139	〃
2-6	85086.970	-13274.139	〃
2-7	85090.146	-13260.639	〃
2-8	85085.814	-13260.639	〃
3-1	85001.268	-13332.291	暗渠管、合流・分岐点
3-2	85042.768	-13332.291	〃
3-3	85047.588	-13338.035	〃
3-4	85082.768	-13338.035	〃
3-5	85001.268	-13308.988	〃
3-6	85082.768	-13308.988	〃
3-7	85001.268	-13258.639	〃
3-8	85021.268	-13258.639	〃
3-9	85041.268	-13258.639	〃
3-10	85061.268	-13258.639	〃

◆補助基準点座標

測点	X座標	Y座標	備考
301(KBM.2)	85106.1910	-13332.8060	標高356.096
T-5	85100.4170	-13279.8660	標高356.882
T-6	85095.9780	-13233.4920	標高357.420
T-7	85091.2560	-13182.9490	標高357.884
A1	85042.8380	-13354.9460	標高356.426
A2	84992.4280	-13345.1530	標高356.759
A3	84992.0460	-13279.1230	標高356.778
A4	84991.3830	-13219.9870	標高357.334
B1	85073.6860	-13311.9120	標高356.765
B2	85020.7300	-13309.2130	標高357.128
B3	85072.5670	-13283.2060	標高357.125
B4	85032.7710	-13250.3950	標高356.550

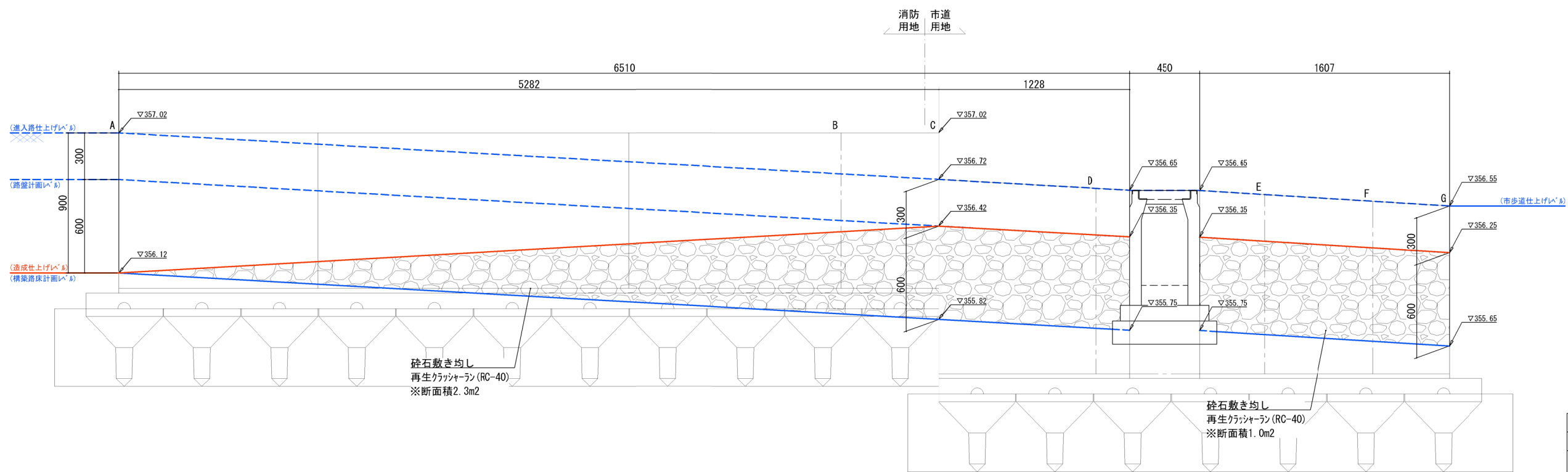
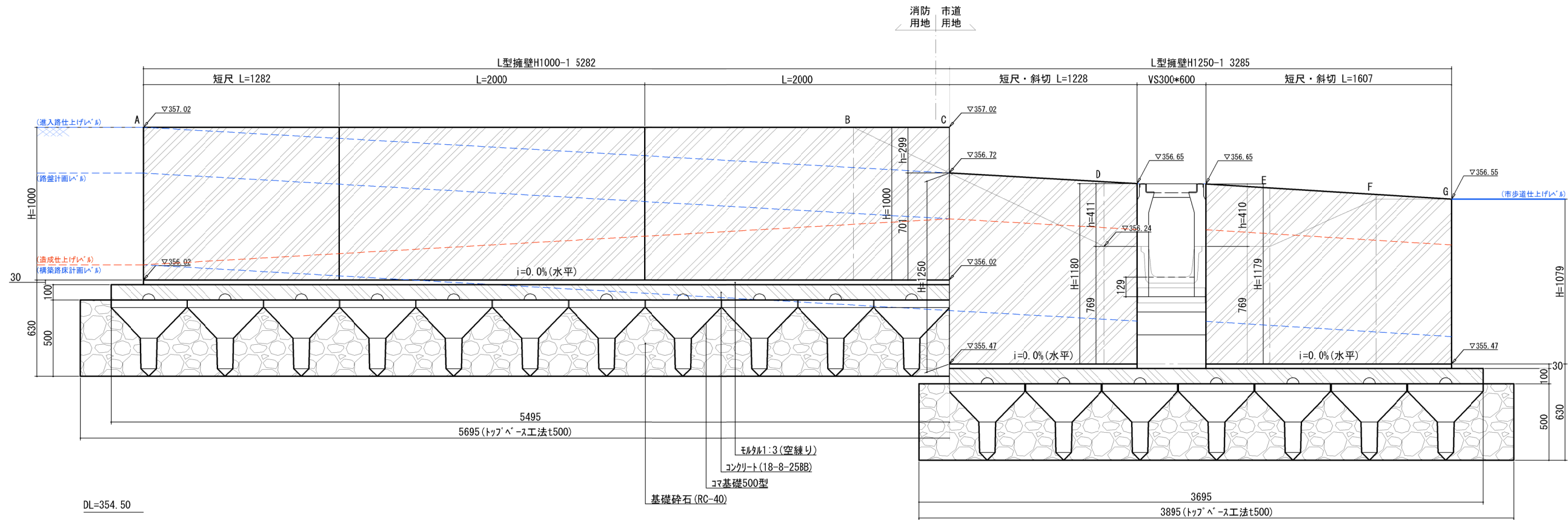
雨水・地下排水平面図

S=1:250(A1) S=1:500(A3)

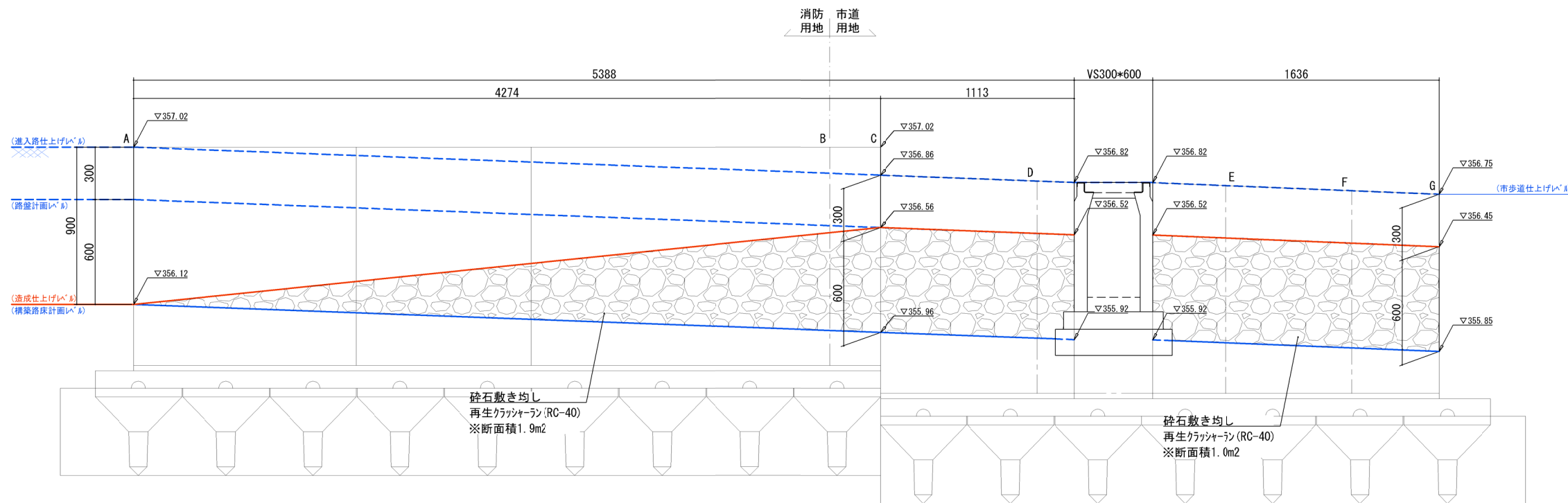
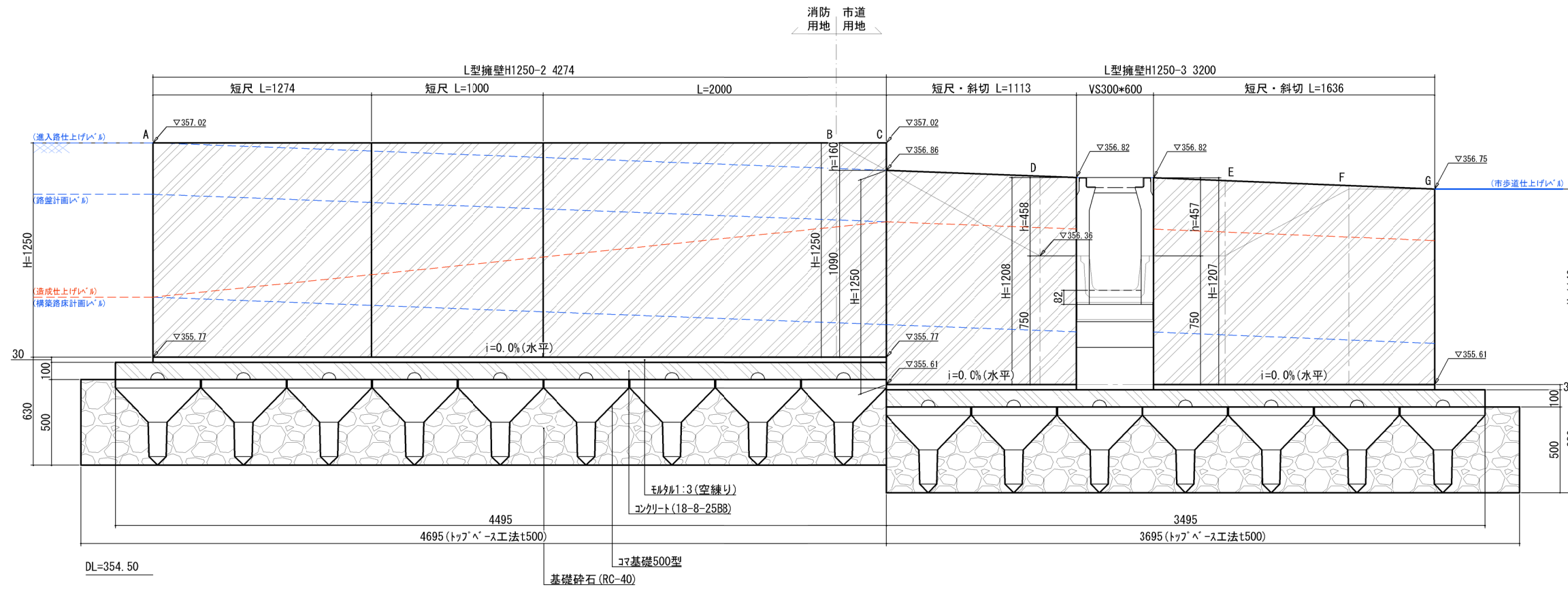


※図に延長、勾配を示す地下排水施設は有孔波状管φ150mmとする。
 ※地下排水管の放流口付近の施工内容については監督員と協議のうえ決定すること。
 ※進入路に据え付けるVS側溝のインバートコンクリートの厚み、勾配は、前後用水路との接続高を確認のうえ、監督員と協議し決定すること。

令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	9 / 14	雨水・地下排水平面図	縮尺 1:250(A1) 1:500(A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社			
岳南広域消防組合			



令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事				
番号	10 / 14	進入路断面図-1	縮尺	1:15 (A1) 1:30 (A3)
中野市大字田麦				
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所			
測量会社				
調査会社				
岳南広域消防組合				

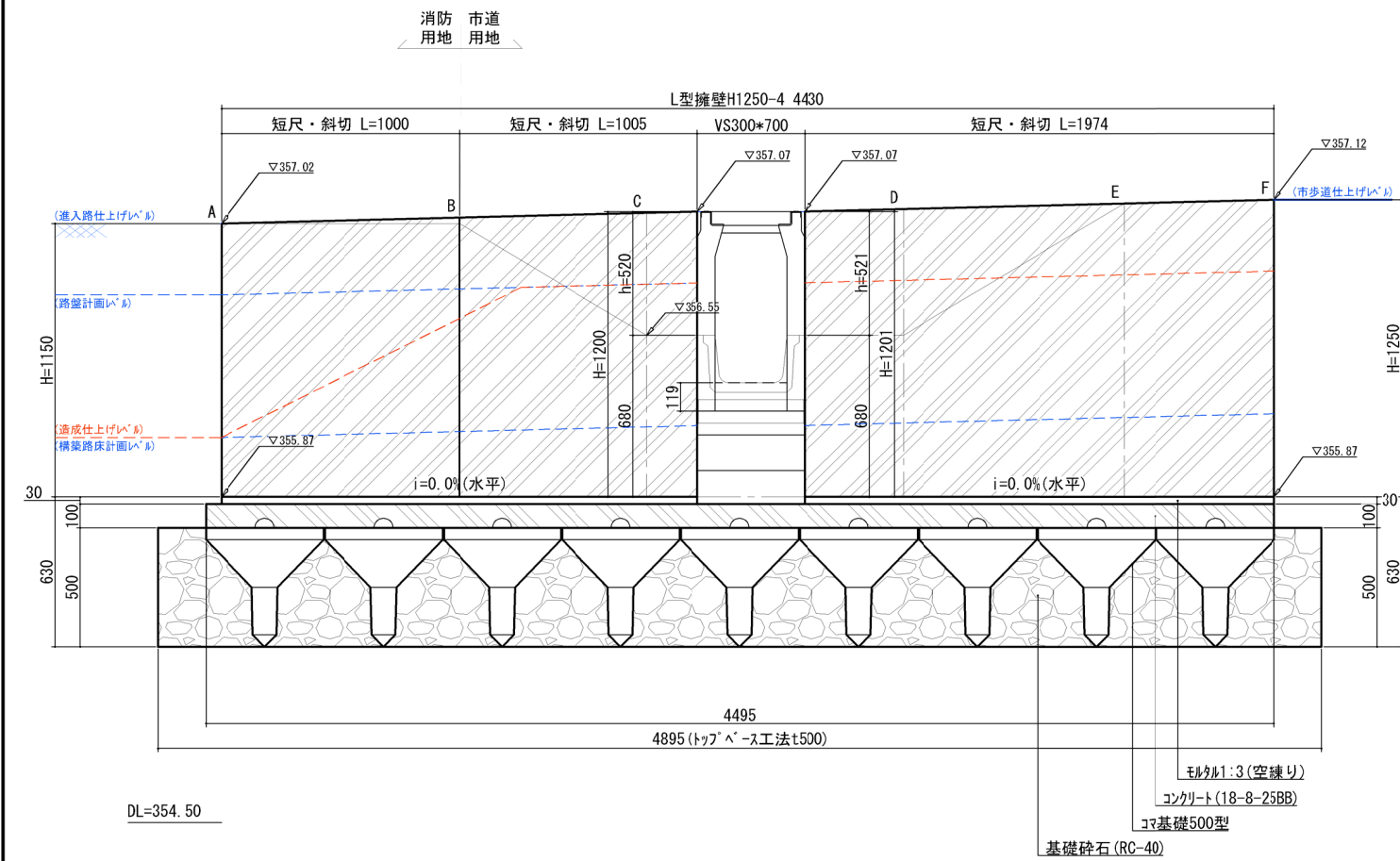


令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	11 / 14	進入路断面図-2	縮尺 1:15(A1) 1:30(A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社			
岳南広域消防組合			

DL=354.50

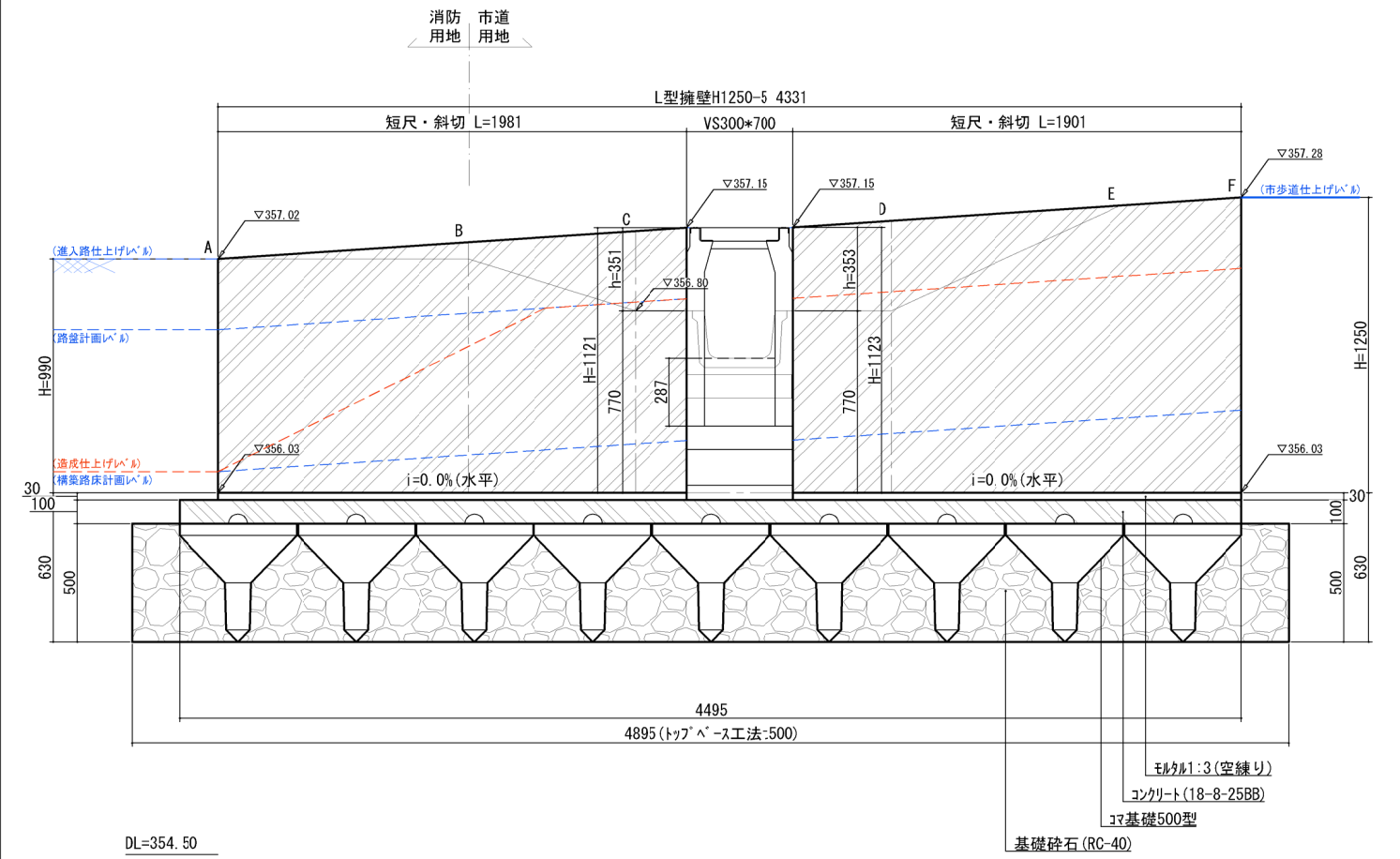
L型擁壁断面図 (北東側出入口_西側)

S=1:15 (A1)



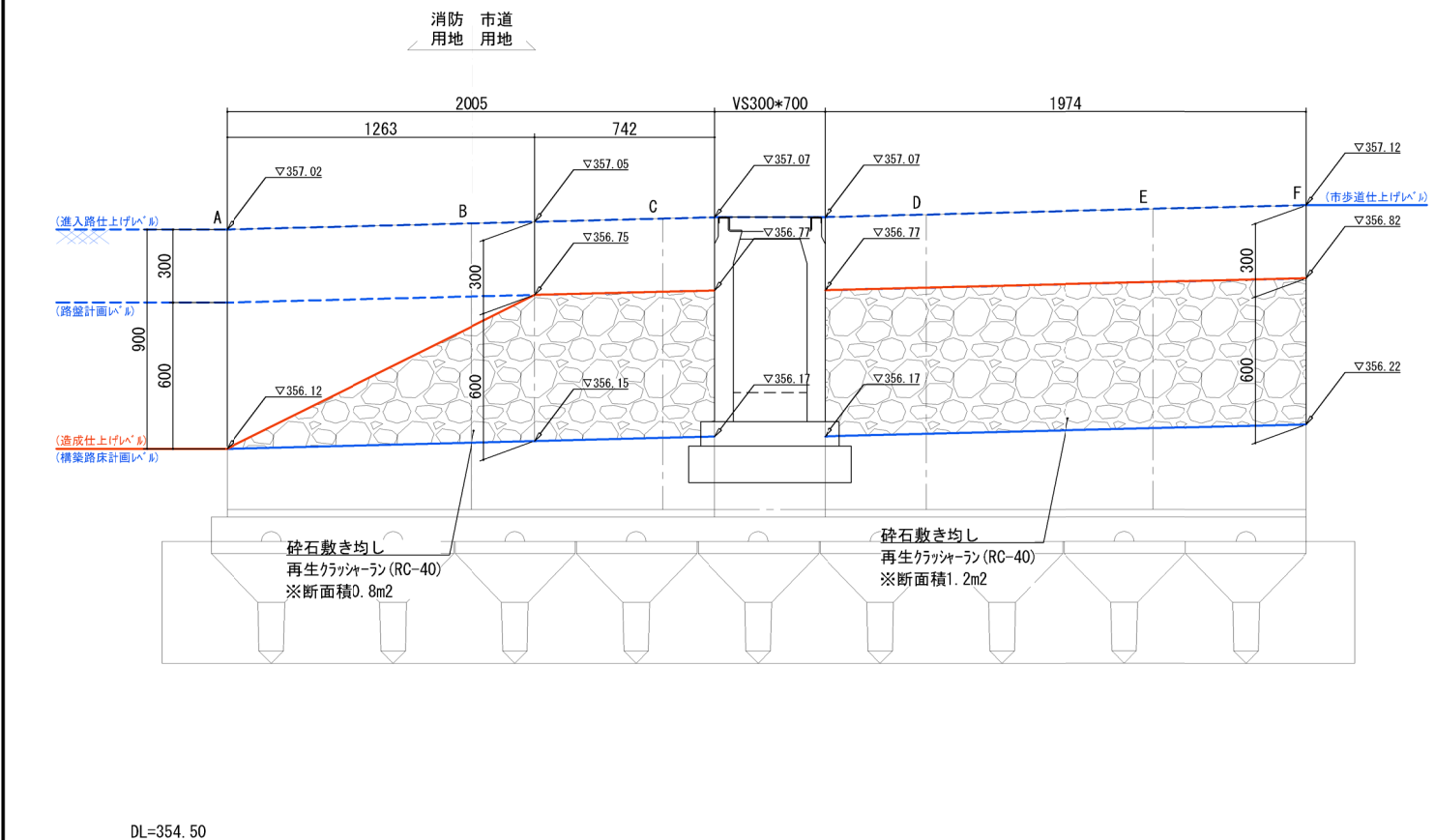
L型擁壁断面図 (北東側出入口_東側)

S=1:15 (A1)



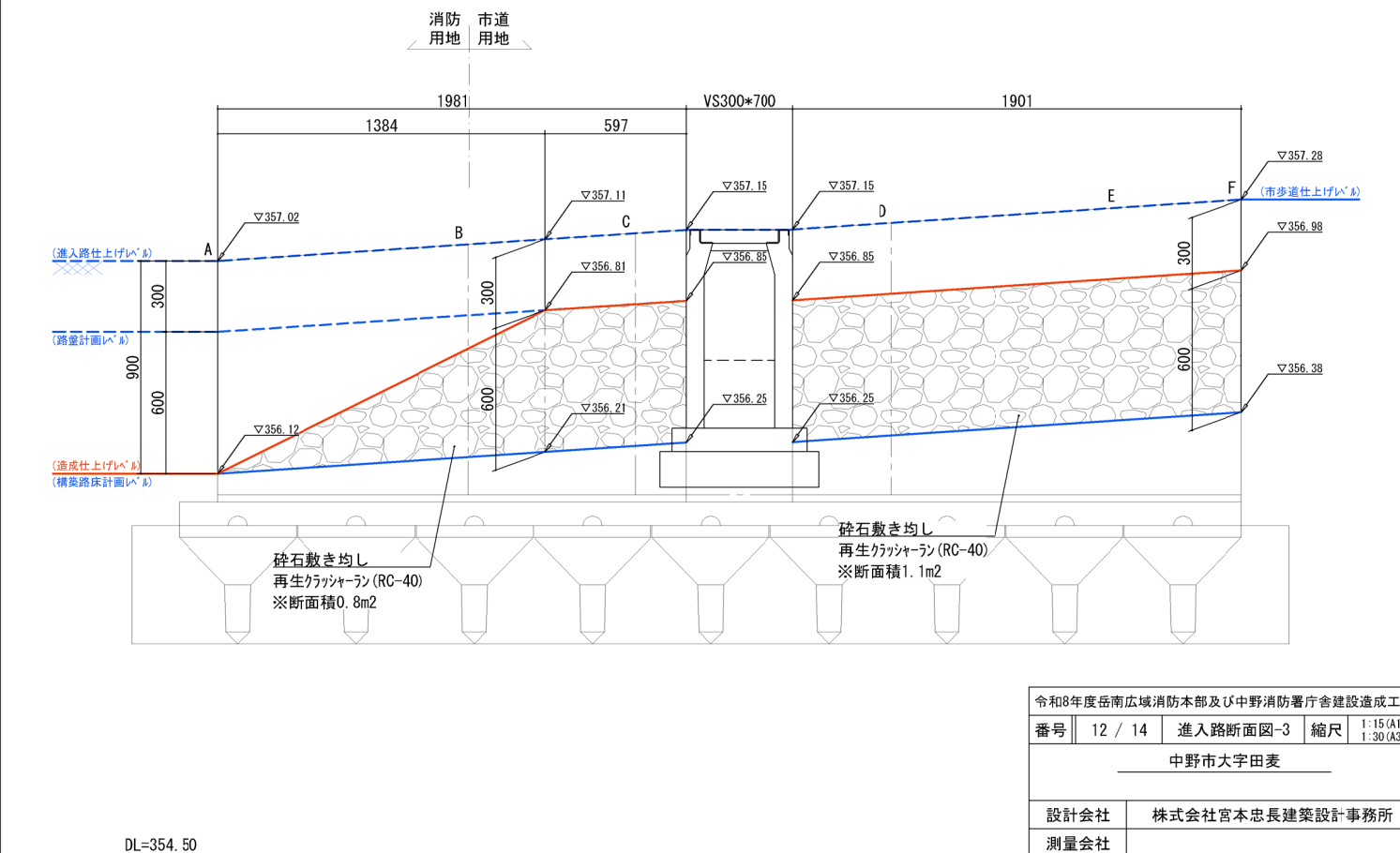
進入路造成断面図 (北東側出入口_西側)

S=1:15 (A1)



進入路造成断面図 (北東側出入口_東側)

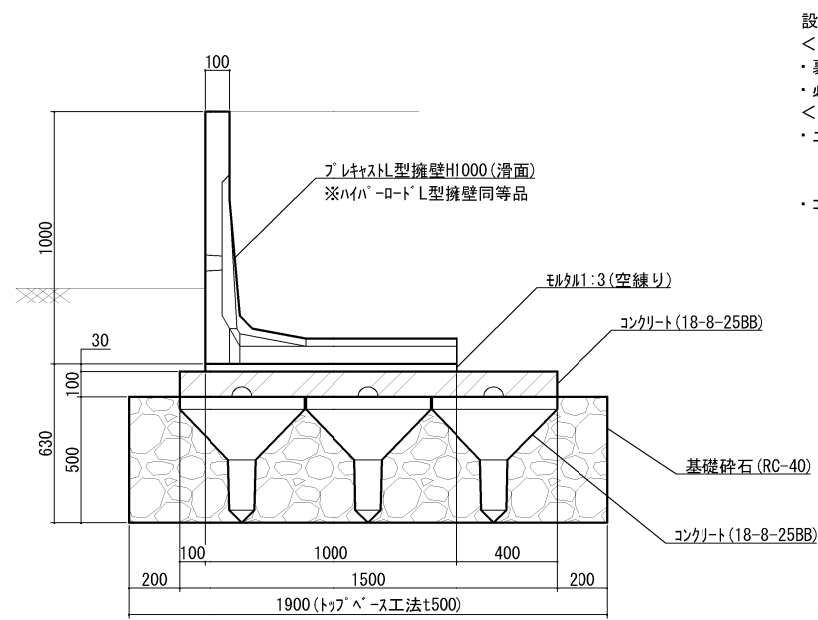
S=1:15 (A1)



令和8年度岳南広域消防本部及び中野消防署庁舎建設造成工事			
番号	12 / 14	進入路断面図-3	縮尺 1:15 (A1) 1:30 (A3)
中野市大字田麦			
設計会社	株式会社宮本忠長建築設計事務所		
測量会社			
調査会社			
岳南広域消防組合			

L型擁壁H1000 標準図

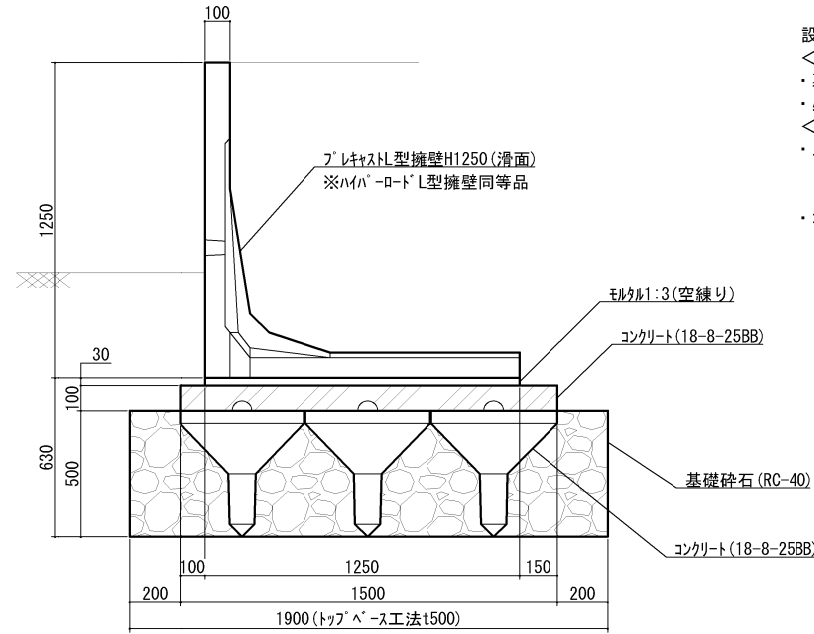
S=1:15 (A1)



設計条件
 <擁壁>
 ・裏込め土: $\phi 30^\circ$, $\gamma 19.00\text{kN/m}^3$
 ・必要許容支持力度: 41.72kN/m^2
 <トップベース工法>
 ・土質条件: $\phi 0^\circ$
 $\gamma 1 7\text{kN/m}^3$ (支持地盤)
 $\gamma 2 16\text{kN/m}^3$ (根入れ地盤)
 ・コア基礎の許容支持力度
 : $141.52\text{kN/m}^2 \geq 41.72\text{kN/m}^2 \dots \text{OK}$

L型擁壁H1250 標準図

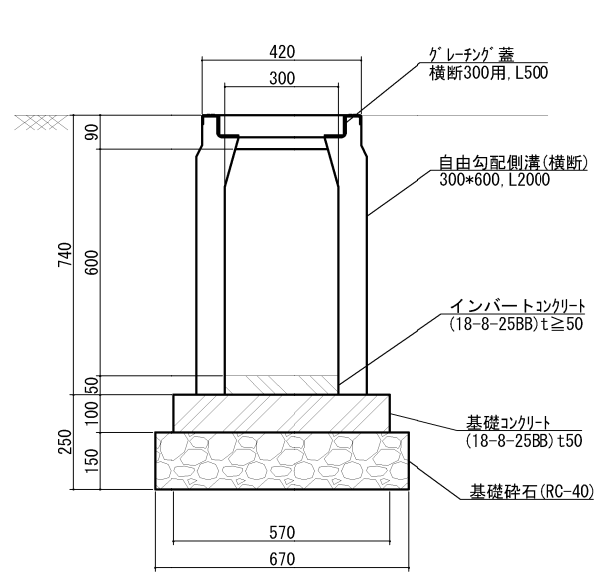
S=1:15 (A1)



設計条件
 <擁壁>
 ・裏込め土: $\phi 30^\circ$, $\gamma 19.00\text{kN/m}^3$
 ・必要許容支持力度: 49.04kN/m^2
 <トップベース工法>
 ・土質条件: $\phi 0^\circ$
 $\gamma 1 7\text{kN/m}^3$ (支持地盤)
 $\gamma 2 16\text{kN/m}^3$ (根入れ地盤)
 ・コア基礎の許容支持力度
 : $114.33\text{kN/m}^2 \geq 49.04\text{kN/m}^2 \dots \text{OK}$

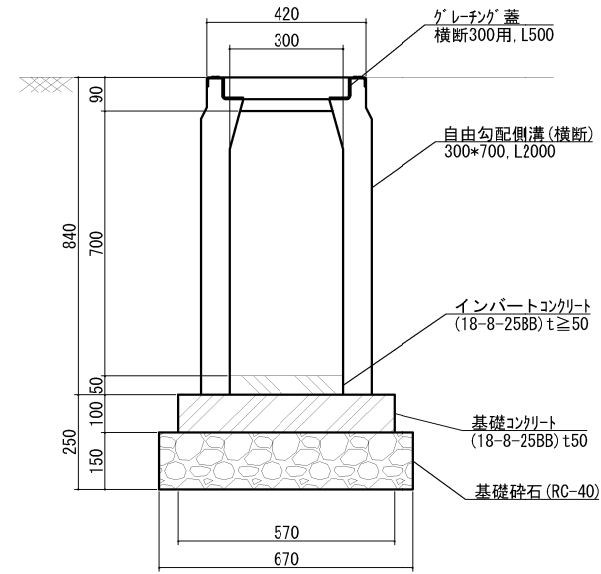
VS300*600 (横)

S=1:10 (A1)



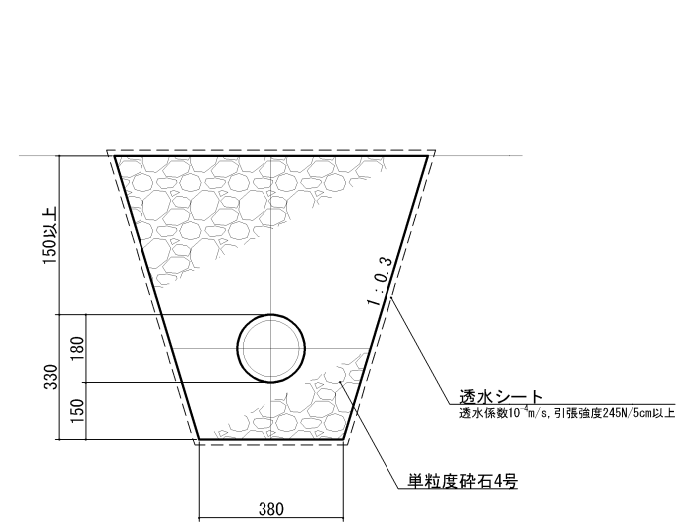
VS300*700 (横)

S=1:10 (A1)



有孔波状管 $\phi 150$ 標準図

S=1:10 (A1)



仮設計画参考図
S=1:250(A1) S=1:500(A3)

